



広報みまた

老人に健康と生きがいを!!

9月15日は「敬老の日」



多年にわたって社会に寄与していた老人を敬愛し、老人自身も時代とともに生きる意欲を一層高め、すべての人が老後への関心と理解を深めるように、九月十五日「敬老の日」、そして二十一日まで老人福祉週間として運動が展開されます。今日を築きあげた老人に感謝し、いつまでも健康で楽しい老後の生活ができるよう激励しましょう。

それでは、三股町の最高令者、原田イセさんの昨今を聞いてみました。

原田イセさんは明治七年一月十六日生まれ（満百二才）現在、娘飯田セイさん（八十才）と孫の六男（四十才）の家族と一緒に、あたたかい愛情につつまれて、毎日を楽しく過ごしておられます。話しかけると、終始笑顔を忘れず話し方もはっきりしており、目も耳もまだまだ大丈夫、病気ひとつしたことがないという、幸福なおばあさんです。

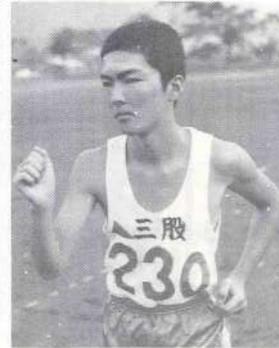
今でも朝は早く起きて規則正しい生活、また毎日の日課で一番たのしいのは農業で、野菜畑などの手入れや牛の世話をしたりするのが楽しみ、表紙も八月二十七日に撮影したものです。近頃の市場に出すイモのヒゲネむしりに精出している元気なイセさんです。

51 / 9月号

全国大会出場

去る七月二十五日、宮崎県総合運動公園陸上競技場で行われた、第二十二回全日本中学生通信陸上競技大会に於いて、我が三股中の選手は善戦健闘し男子三名(一年山元耕二君、大久保良二君、二年山内武君) 女子一名(三年福沢恭子さん)の入賞を果しました。

特に二年男子の部一、五〇〇米では山内武君が四分二十九秒五で標準記録を突破する好記録で優勝し、県でただ一人全国大会出場権を得ました。



全国大会に出場した山内君

上競技連盟、全国中学校体育連盟の主催で行われ、三股中の山内君が一、五〇〇米に出場、全国の強豪を相手によく健闘し入賞は逸しましたが、今後の陸上界において一層の活躍が期待される。

手権大会は八月十四日、十五日、東京の国立競技場で日本陸

「創業六十周年を迎える

郵便局の簡易保険

(十月は簡易保険月間)

簡易保険は、大正五年十月一日から、無診査、月掛、集金を特徴

とした国営の生命保険として創設され、全国の郵便局でその取扱



が開始されました。以来六十年郵便局の簡易保険として、広く皆様に愛され、親しまれ利用された結果、現在総加入件数五千万件、契約高は二十八兆円、資金総額は七兆円を超えております。

この簡保資金は、加入者の大切な財産として市町村などの地方公共団体をはじめ、公社、公庫、公や道路、学校、交通機関など皆様の生活に結びついた身近な生活環境の整備拡充に役立っています。

当三股町には、五十年度中公営住宅今市団地建設事業に三千二百六十万円、道路、下水整備事業等に一千九十万円(計四千三百五十万円)が融資され、現在までに融資額の累計は四億百万円にのぼっています。

このほか、簡易保険では、加入者ホーム、保養センター、診療所などの福祉施設を全国各地に設置し、加入者の福祉の増進にも努めています。

また、創業記念日にちなんで、毎年十月を「簡易保険月間」と名

付けておりますが、今年には創業六十周年を記念して、全国的にPR活動と新加入運動を展開し、簡易保険に対する皆様の理解と信頼を一層深めるとともに、まだ簡易保険に加入されていない方々にも積極的に呼びかけ、保障のある生活が送れ、安心して働けるようお勧めしております。

愛のこ寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通り頂きました。故人の冥福をお祈り致しますと共に社会福祉進展のために有意義に利用させて頂きます。

昭和五十一年(七月二十八日から八月二十七日まで)

忌明け寄付	故人名	部落	金額
納入者	前畑邦明	前畑サエ	二万円
	山田セツ	山田 愿	五万円
	堂脇キク	堂脇政利	三万円
	南直義	南 モイ	一万円
	原田シゲ	原田国吉	一万円

納 税

固定資産税
9月 2 期

三股町の人口

昭和51年8月1日現在

男 7,561人	出生27人
女 8,531人	死亡4人
計16,092人	
世帯数 4,819戸	